

第1分科会第4回 意見一覧（2020年7月16日）

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応案
<b>定員適正化計画について</b>			
1	行財政運営 分野 分野目標 （資料1）	・スマート自治体はAI等を活用して人員を削減していくイメージを持たれる。データ（定員適正化計画で人員増となっていること）と矛盾があるので、もう少し丁寧に説明する必要があるのではないか。	・スマート自治体の推進は、職員数を減らすことを目的とするものではなく、業務の効率化等を進め、企画立案業務や住民への直接的サービス提供など職員でなければできない業務に注力できるような環境を作ることが目的としている。  ・令和2年度から令和6年度までの5年間を取り組み期間とする定員適正化計画では、当面の行政需要の増に的確に対応するため、必要な職員数を確保するものとし、全体で増となっているので、計画の趣旨がわかるよう追記する。
2		・数字の読み方、この表をどう読み解くのかということを文書の中にきちんと書くべき。	
3		・表に少しでも文章で説明があれば随分と違う。	
4		・姫路市定員適正化計画の数値が「再任用フルタイム職員」が5年間で大幅に増えている。説明がないまま記載すると、なぜこの数値に決まったのかと誤解があるので、巻末や注釈で「年金支給年齢引き上げによる…」などの根拠を提示してはどうか。	
5		・人口は減るのに、職員は増えるのはなぜかということがわかるようにすべきである。高齢者の増加などにより福祉ニーズが増加するので、職員数の増加が必要というような書きぶりにすればよいのではないか。	

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応案
<b>方向性のラベリングについて</b>			
6	行財政運営 分野 政策1  (資料1-1)	・方向性で区分している「人」「地域」「活力」「土台」は何のことがわからなかった。「づくり」を記載した方が分かりやすいのではないか。	・【目指す姿を実現するための方向性】のタイトルの後ろに（人、地域、活力、土台づくり）と追記するとともに、製本時には、政策の見方を説明するページを追加する。ラベリングそのものについては、原案のとおりとしたい。
<b>事務権限の移譲について</b>			
7	行財政運営 分野 政策1  (資料1-1)	・事務権限の移譲が事務量の増加とマイナスに捉えられている。地方分権が進み、住民に近いところから発想した施策を行う職員を育成するという書き方や考え方に改めた方がよいと考える。	ご意見のとおり、事務権限の移譲による影響のプラス面を追加するように【現状と課題】の記載を修正する。
<b>職員の能力向上について</b>			
8	行財政運営 分野 政策1  (資料1-1)	・政策2のスマート自治体の推進に呼応し、「高度な専門性」に対応できる職員の能力向上を追加してはどうか。	・ご意見の趣旨は、政策1の【目指す姿を実現するための方向性】アに記載の「意欲や能力、コンプライアンス意識の高い、市民から信頼される職員を育成します。」に含まれていると考えており、方向性を踏まえ、先進技術に対応できる職員の育成を進める。

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応案
「市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」について			
9	行財政運営 分野 政策 1,2  (資料1-1) (資料1-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」は必要なのか。</li> <li>・役割分担ということは理解できる。表現について、検討の余地があるのではないか。</li> <li>・市民も地域コミュニティも企業・団体も対等なパートナーシップというのが大前提。だとすれば少ない気がする。</li> <li>・タウンミーティングとか、市民の意見とうまくリンクできればよいと思う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つのアイデアとして、市民の方や市民に関わる方が、実際にこんなことをやっています、ということを書き、読み手にイメージさせるのはどうか。</li> <li>・マイナンバーカードを取得しましょう、とか、ICTを地域コミュニティ活動で活用しましょう、ではなく、行政として、それらを活用していっしょにこんなことをしましょう、ということを書くべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路市まちづくりと自治の条例に市民、地域コミュニティ、企業・団体がまちづくりに参画するとの趣旨が規定されており、これを具現化するために必要であると考えている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を参考に、より適切な内容となるよう表現を再検討したい。</li> <li>・計画策定後に作成する予定のパンフレット等において、見せ方を工夫し、分かりやすいものとする。</li> </ul>
10	行財政運営 分野 政策 1  (資料1-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が市民にお願いすることは3行ではすまない。もう少し包括的に市民と市が協働して一体となって、これからはこうするという文章にした方がいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的な考え方は、第2章「行動指針」に記載し、各政策において特にそれぞれの主体に協力していただきたい事項を政策ごとに記載したい。</li> </ul>

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応案
11	行財政運営 分野 政策1  (資料1-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民」は受け身の市民しかイメージできていないのではないかと。市民が主体的に関わっていくという意識が全然出ていない。「市民」と「地域コミュニティ」の差が何かもわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を参考に、より適切な内容となるよう表現を再検討したい。</li> </ul>
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「期待すること」については、この場で議論し、主体性のある表現を検討すべきではないか。</li> <li>・「期待すること」は、市民はどうかという部分。例えば、一緒に情報を見るツールを作りますとか。</li> <li>・「～に期待すること」ではなく、「役割」とかはどうか。</li> <li>・語尾はともかく、それぞれの分野で気づきがあるので、それはよい。</li> <li>・市民の受け身的な表現ではない、「協力できること」「協働すること」のような書きぶりで、具体的な取り組みを記載するイメージでいる。</li> </ul>	

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応案
13	行財政運営 分野 政策1  (資料1-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「期待すること」には、市民を巻き込んで一緒にやりますという書きぶりにすると、もっと共感されると思う。</li> <li>・「期待すること」、「役割」ではなく、協力、力を貸してほしいという表現の方が市民としてはいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を参考に、より適切な内容となるよう表現を再検討したい。</li> </ul>
14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「期待すること」について、市民が自ら参加したいと思える表現にしてほしい。</li> <li>・すべての分野で三つ（市民、地域コミュニティ、企業・団体）に分ける必要もないと感じる。参加するための手段とかを書くとよいかもしれない。すべての分野でこの分け方が必要なのかわからない。</li> </ul>	
<b>(スマート自治体について)</b>			
15	行財政運営 分野 政策2  (資料1-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急ごしらえで作られた感じがあり、内容が十分に検討できていない。目指す姿の「地域課題の解決」について、現状と課題に書かれていない。地域の方々と協働して地域課題を解決していきましょうというようなことがあるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の解決や地域活力向上のため、ビッグデータの分析により把握した地域特性に基づく取組や、オープンデータの推進などによる公民協働を進める、という内容に【現状と課題】や【目指す姿を実現するための方向性】の記載を修正する。</li> </ul>

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応案
16	行財政運営 分野 政策2  (資料1-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目指す姿の「Society5.0時代の先端技術を活かし」という表現が調べないとわからなかった。行政の資料は難しい言葉を使い過ぎている。デジタルデバイドも、すぐに説明できる人はいないのではないか。読み手が調べないと理解できない文章はどうかと思う。</li> <li>・ もっと市民がわかりやすい表現にした方がいいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Society5.0については、本編序論の「まちづくりの前提となる潮流」という項目で、1ページを使い、図付きで解説しており、その部分を受けて目指す姿を整理している。</li> <li>・ 計画全体としては、ご意見を踏まえ、読みやすいものとなるように工夫していく。</li> </ul>
17	行財政運営 分野 政策2  (資料1-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目指す姿などが市民向けではない。これは、これから行政がこういう風にやっていきます、という目標に過ぎないと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見を踏まえ、目指す姿を修正する。</li> </ul>